

区民会館の整備に関する考え方について

構造計画

(1) 基本的な考え方

・同敷地内に計画する本庁舎を構造体Ⅰ類相当として整備するため、区民会館ホールについても接続する東1期棟と同等の構造体Ⅰ類相当で整備することにより、災害時の機能継続の連続性を向上させます。

(2) 耐震補強計画の考え方

・区民会館ホールについては、構造体Ⅰ類(Is値0.90)相当の耐震性能を満たすために耐震補強を行います。
・区民会館ホールは、整備後もこれまでと同様に、多様な区民の活動を受け入れる多目的ホールとしての利用を想定するため、ホール機能にも配慮したうえで耐震補強を計画します。また、区民に長らく親しまれてきた特徴的な折板構造の外観イメージを継承するべく、補強部位はできるだけ建物内部側として、意匠性に配慮した補強計画とします。

(3) 耐震改修の具体的手法

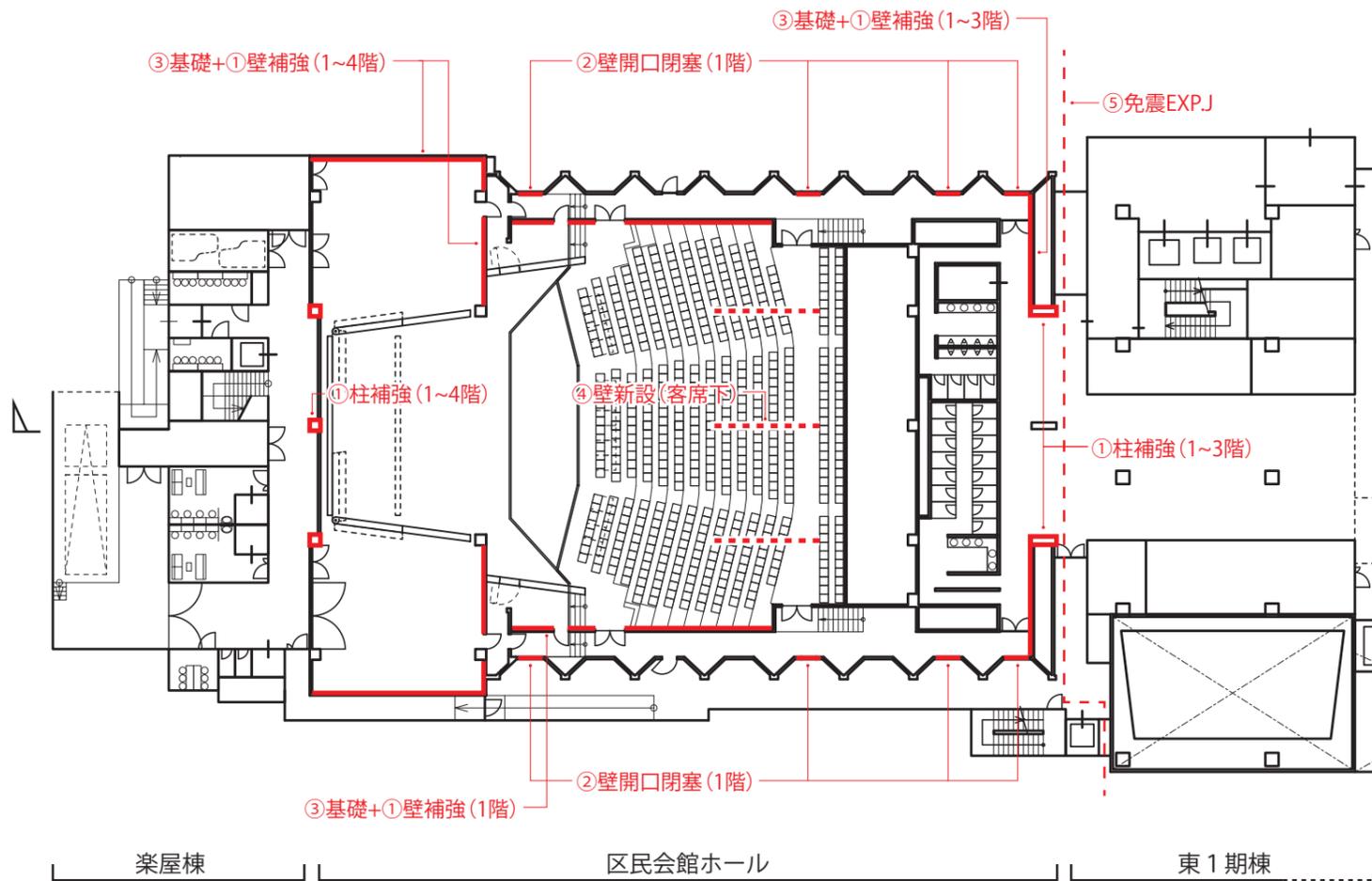
ホール機能にも配慮したうえで補強可能な部位を抽出し、有効な補強方法を検討しました。具体的には以下の手法により、既存建物の耐震性能向上を図ります。

- ①既存の鉄筋コンクリート柱及び壁の厚さを増す補強
- ②既存の鉄筋コンクリート壁の開口部を塞ぐ補強
- ③柱及び壁の補強による建物荷重の増加に伴う基礎の補強
- ④客席下に新たに鉄筋コンクリート壁を設ける補強
- ⑤隣接建物との間に地震時の建物変位に対して安全な離隔距離を確保する改修

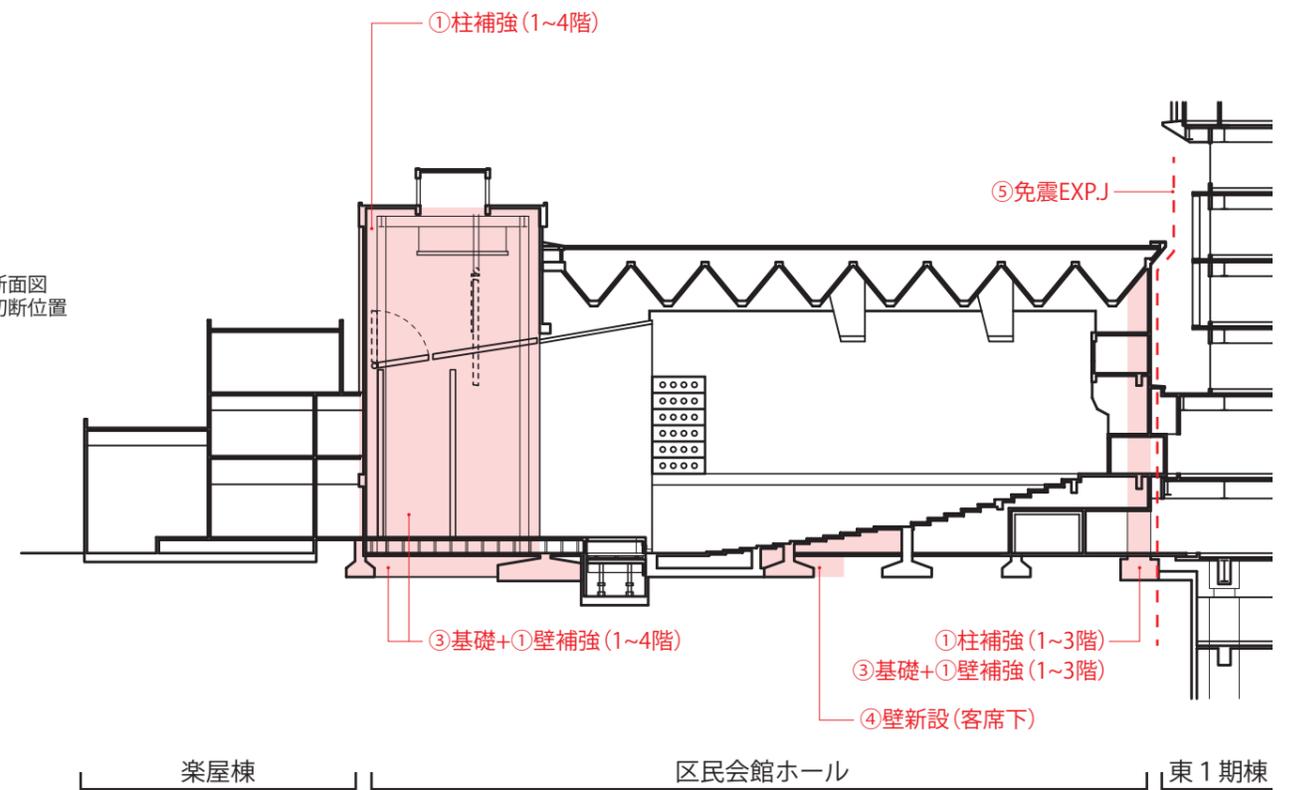
(4) 躯体長寿命化について

・ひび割れ等躯体の補修、コンクリート打放し部の適正な保護材の塗布、中性化改善措置などにより、保存する躯体性能の確保、及び外観の美化を行います。
・金属屋根は防水性能向上のため改修し、コンクリート躯体を保護します。

□ 耐震補強位置図(案)



1階平面図



断面図



区民会館の整備に関する考え方について

平面計画

(1) にぎわいや交流の創出を図る施設

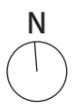
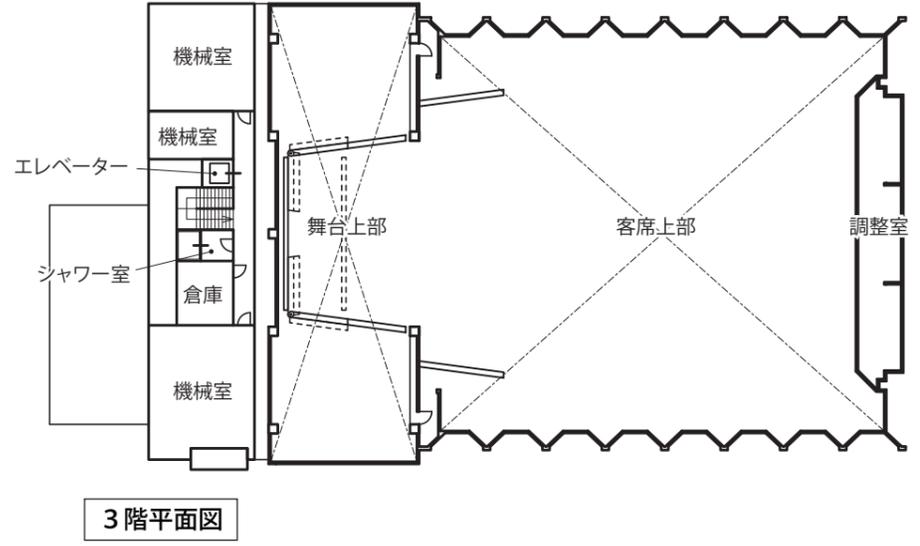
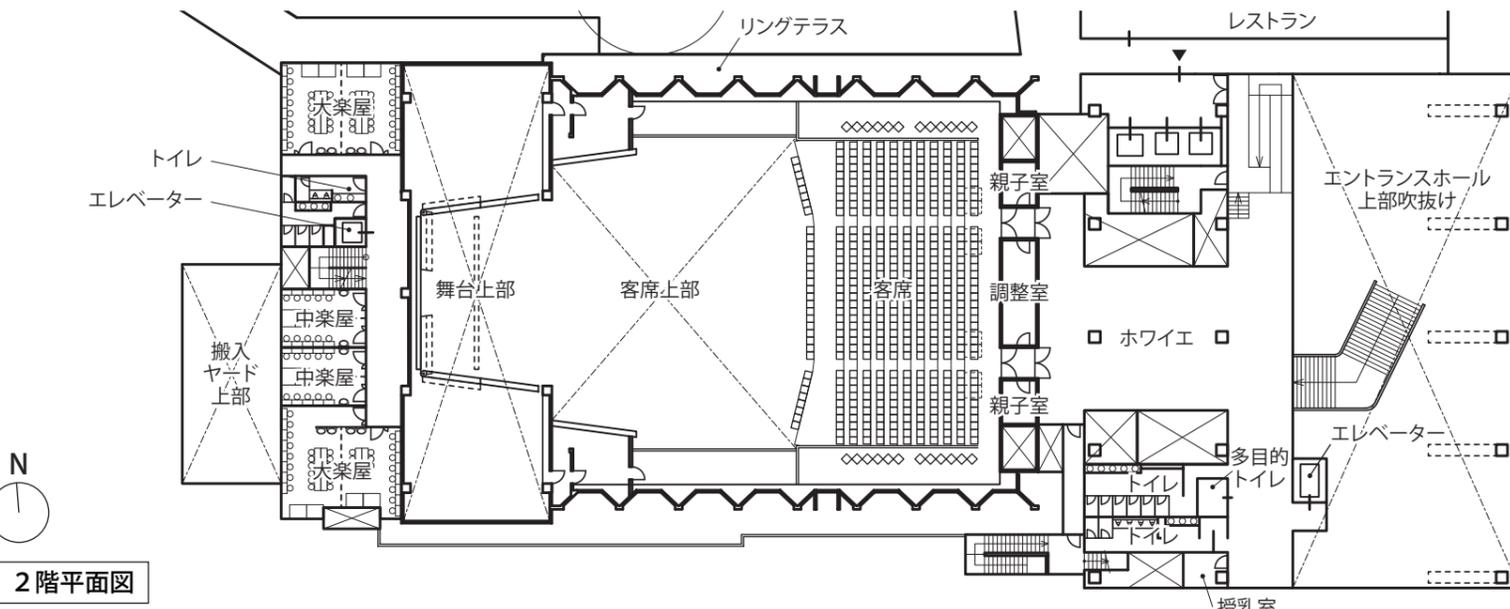
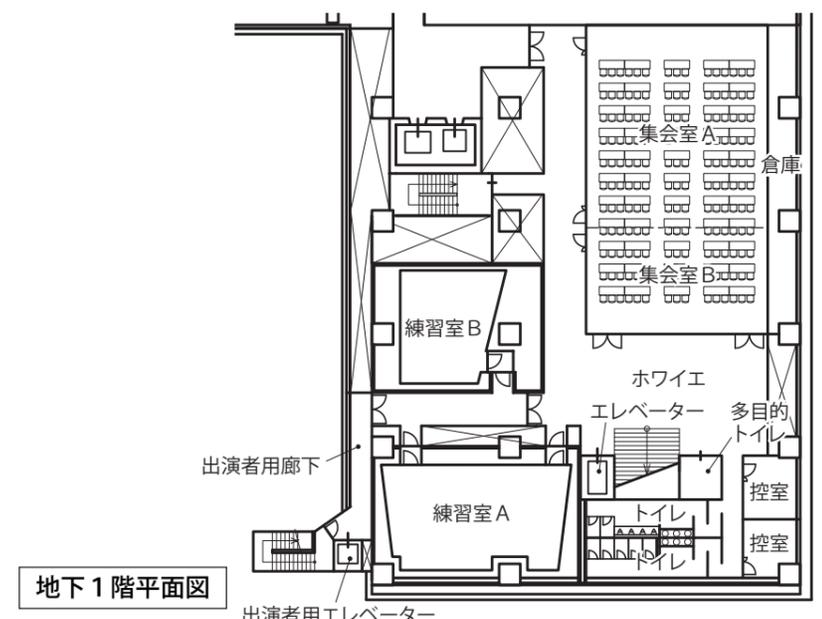
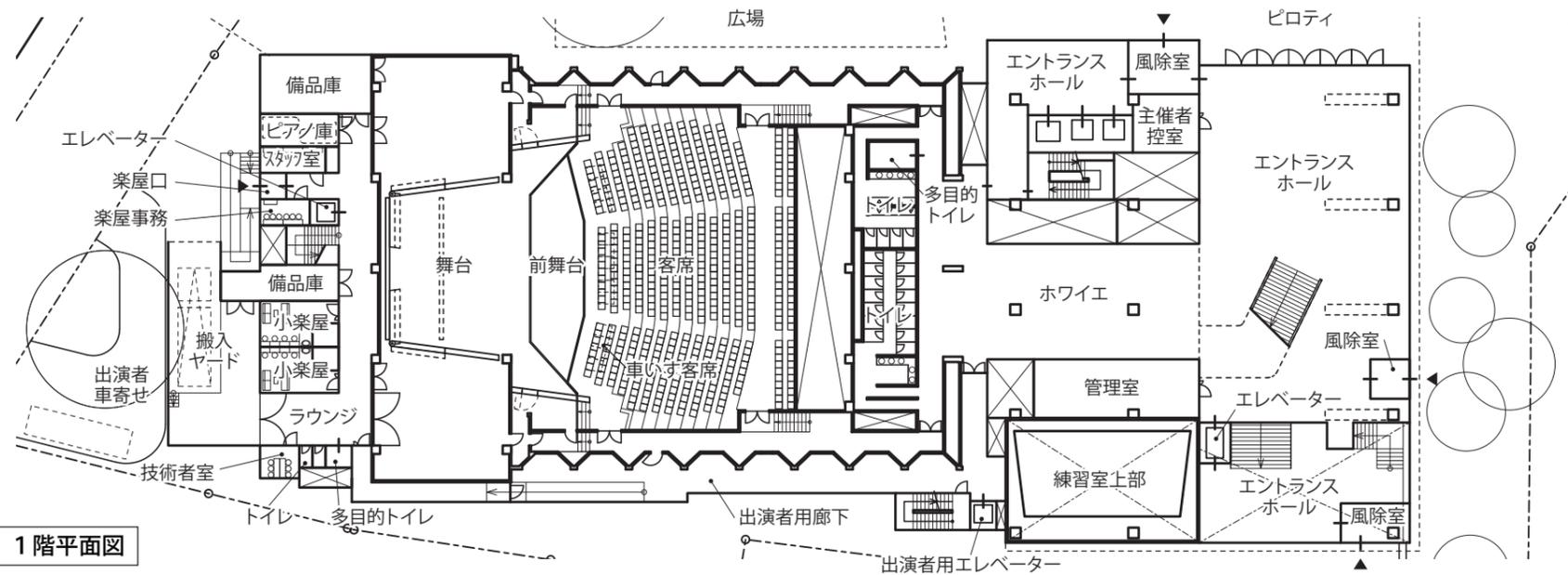
- 区民会館のエントランスホールは、現区民会館と同様の位置である、東1期棟1階に計画します。敷地東側からの視認性が高く、また敷地西側からも広場やピロティ越しに視認ができる、アプローチのしやすい配置とします。
- エントランスホールは2層吹抜けの明るく開放的で、ケヤキ並木やピロティ、サンクンガーデンの池などを室内からでも感じられる、施設の顔としてふさわしい空間とします。また、現区民会館の意匠を復元した階段など、既存建物の雰囲気を感じられる設えとします。
- 区民活動の場となる集会室や練習室を、東1期棟の地下1階に配置します。敷地南東のサンクンガーデンに面した地下1階用のエントランスホールを併設し、明るく開放的で、アプローチもしやすい計画とします。
- エントランスホールには大きく開放できる扉を計画し、広場やピロティ、東2期棟の区民交流機能との連携がしやすい計画とします。

(2) ホールを中心とした施設

- 現位置に整備するホールを中心に、西側には楽屋機能を、東側には集会室や練習室等の区民活動諸室を、南側には楽屋と練習室をつなぐ出演者用動線を配置し、各機能を明快にゾーニングします。
- 各機能をエントランスホールや廊下等でつなぎ、機能連携が容易で、観客も出演者も使いやすい施設とします。
- 搬入口の遮音性能の強化、屋外テラスの浮床設置等、ホールと外部との遮音性能の向上を図ります。

(3) 誰もが使いやすい施設

- 利用者(観客・出演者)動線は、ユニバーサルデザインに基づいて計画します。
- 練習室から楽屋までの動線については、演者専用の動線を、観客動線とは別に確保します。
- 来庁者駐車場から、地下及び地上レベルで、区民会館への動線を確保します。
- トイレは、ホール客用と楽屋用いずれも専用で計画し、十分な数を整備します。また、各階に多目的トイレを設けます。



区民会館の整備に関する考え方について

区民会館機能の向上

(1) ホールについて

(ホール 概要)

- ◆客席 1層構造、一部バルコニー席
約950席(前舞台未利用時)
約900席(前舞台利用時)
- ◆車いす席 客席最前列、客席最後列
- ◆親子室 2室(2階)

(楽屋 概要)

- ◆小楽屋 2室(1階)
- ◆中楽屋 2室(2階)
※移動間仕切り等による分割利用を想定
- ◆大楽屋 2室(2階)
※移動間仕切り等による分割利用を想定

○用途について

- ・多様な区民の活動を受け入れる多目的ホールとして、下記の用途を想定します。
 - ①様々な文化活動(音楽演奏、合唱、ダンス、伝統芸能、演劇等)の発表会
 - ②講演会や式典
 - ③その他:ロビーやホワイエでの各種展示や販売会等

○舞台計画について

- ・客席側の一部を可動式の前舞台として拡張し、大編成の演奏時において舞台面を大きく使用できるようにします。
- ・舞台機構は電動を主として耐荷重・速度のスペックアップを図るとともに、利用状況を踏まえた幕構成とし、利用しやすく転換を行いやすい計画とします。
- ・音響反射板を備え、生音の音楽演奏や合唱に対応します。

○客席について

- ・客席は固定席を基本とします。座席空間は最新の標準レベル程度に充実します。
- ・前舞台を使用しない時は、前舞台部分を客席に転換できるようにします。
- ・客席最前列及び最後列に、車いす席を設けます。

○サイトラインについて

- ・各客席から主舞台への視認性を確保することはもとより、前舞台への視認性にも配慮した計画とします。

○楽屋・搬入・備品庫について

- ・楽屋1階には、舞台下手に近接した位置に小楽屋を設けます。楽屋2階には、中楽屋、大楽屋を設けます。楽屋専用エレベーターを設け、バリアフリーにも配慮した計画とします。
- ・楽屋内には、化粧台、洗面台、更衣スペースを設けます。
- ・舞台上手側に備品庫とピアノ庫を計画します。搬入ヤードは4tロング(8t)トラックが駐車できるスペースを室内化し設けることで、近隣住宅に対して荷下ろし時の騒音の影響がないよう配慮します。

○ホワイエについて

- ・各階にホワイエを整備します。また、ホール利用のある場合においても、単独で利用できるよう整備します。

○音響計画について

- ①静けさ…使用目的に適した静けさが得られること。(騒音防止計画)
 - ・外部騒音、振動を適切に遮断するために、搬入口など遮音性能が弱い箇所の遮音性能の向上を図ります。
 - ・ホール、練習室、集会室の室間、上階庁舎階への影響を考慮し、同時使用が行える遮音構造の配置を行います。
- ②良い響き…良い室内音響条件が得られること。(室内音響計画)
 - ・プロセニウム開口高さを出来るだけ高く確保し、舞台天井高さをできるだけ客席天井高に近づけ、また演奏する舞台を客席側に近づけること(前舞台の使用をコンサートの通常設定にする)等により、舞台の演奏がより客席に届きやすいホールとします。
 - ・豊かでしっかりした響きをめざし、内装の重量化を行います。また、ホール全体がまんべんなく響くように、また柔らかい反射音を得られるように、既存ホールに設けられている折板形状の良さを継承し、さらに大小様々な凹凸をホールの意匠と融合させ設置することで、よりよい音響を目指します。
- ③良い音…多目的ホールにふさわしい舞台音響設備を有すること。(舞台音響計画)
 - ・スピーチの拡声に対して、豊かな音量や良好な音質が客席で得られるよう、本施設に適したシステムの選択、スピーカーの配置等を行います。

○トイレについて

- ・各階のホワイエには客用トイレ、多目的トイレを設けます。ホール定員数に対応した十分な個数を計画するとともに、特に女性トイレについてはトイレ待ちの列が滞留するスペースを考慮したレイアウトとします。
- ・乳児が利用することもある親子室がある2階に、授乳室を設けます。

○主催者控室について

- ・エントランスホールに面して主催者控室を整備し、一時荷物預かり等のスペースとしても使用します。

(2) 集会室、練習室について

(集会室 概要)

- ◆集会室A 約180㎡、約100人利用(スクール形式)
- ◆集会室B 約100㎡、約50人利用(スクール形式)
- ◆集会室A+B 約280㎡、約150人利用(スクール形式)

(練習室 概要)

- ◆練習室A 約90㎡、天井高さ約6.0m
- ◆練習室B 約50㎡、天井高さ約2.5m

○集会室について

- ・スピーチ等の拡声をメインとした講演会等の用途を想定します。
- ・移動間仕切りにより、柔軟な利用が可能な計画とします。また、集会室に近接して倉庫、控室を設けます。
- ・単独での利用のほか、ホール使用時の楽屋、控室等としての利用も想定し、観客動線とは別に、舞台への出演者動線を確保します。

○練習室について

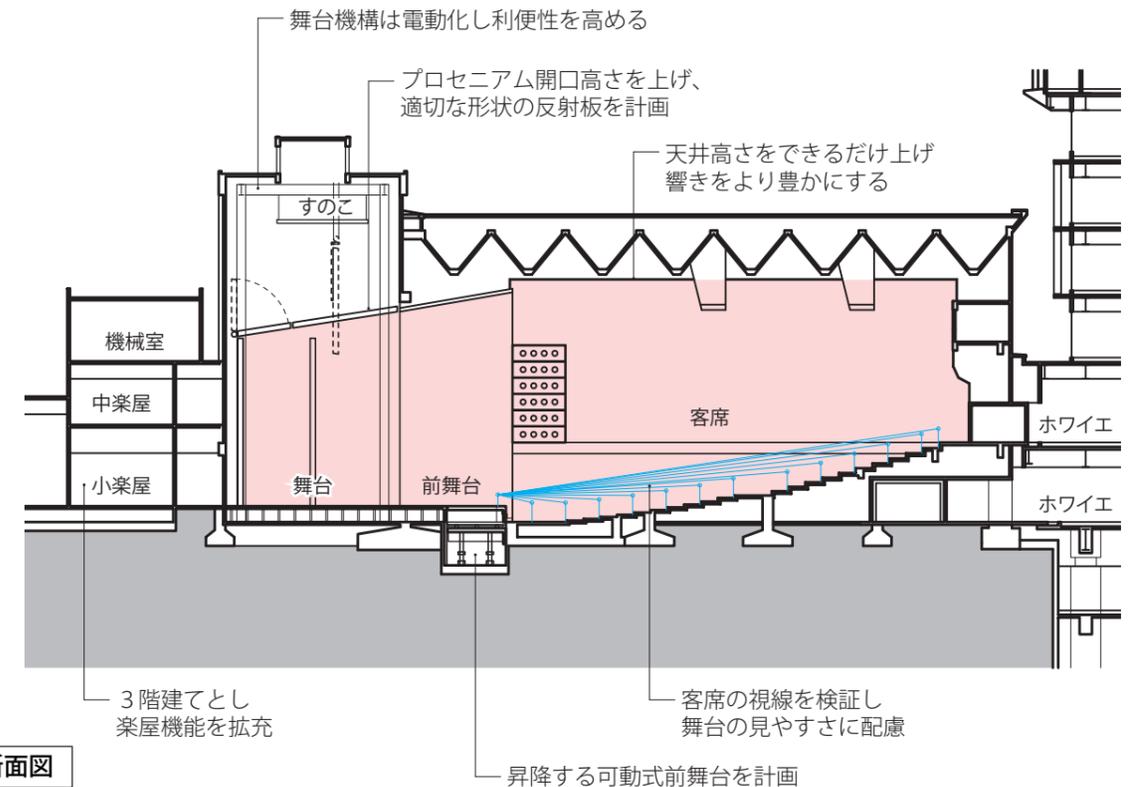
- ・音楽演奏やダンスの練習をはじめ、様々な用途で使用されることを想定します。
- ・練習室2室間の遮音性能、近接する集会室、またホールや上階庁舎部分への影響を考慮し、練習室には防振遮音構造を採用します。また、出入口は前室付の2重扉を配置し、十分な防音性能を備えた部屋として計画します。
- ・単独での利用のほか、ホール使用時のリハーサル室、控室等としての利用も想定し、観客動線とは別に、舞台への出演者動線を確保します。

○トイレについて

- ・地下1階には、集会室、練習室用に客用トイレ、多目的トイレを設けます。利用者数に対応した十分な個数を計画します。

(3) 管理事務室について

- ・ホール、集会室、練習室の受付及び管理を行う区民会館管理事務室をエントランスホールに面して設けます。



ホール断面図